

2018年8月30日

私立大学図書館協会
国際図書館協力委員会
委員長 稲垣 智成 様

法政大学図書館事務部市ヶ谷事務課 宮下 夏実

2018年度海外認定研修（B）報告書

私立大学図書館協会国際図書館協力委員会の助成により、標記の研修へ参加させていただきましたので、以下のとおり報告いたします。

I 研修概要

（1）認定対象研修：

ALA・米国図書館研修 2018 ニューオリンズ&ヒューストン 8日間
～アメリカの大学・公共図書館の最新事情を探る～

（2）参加目的：

研修先である米国は、研究および図書館業界において先進国であるので、その現状を視察し、法政大学図書館で取り入れるべき内容を検討する。

（3）旅行企画・実施：株式会社 アイ・ダヴリュー・エイ・ツアー

（4）企画協力：図書館総合展運営委員会、丸善雄松堂株式会社

（5）研修期間：2018年6月23日（土）～30日（土）

（6）訪問都市：ニューオリンズ（ルイジアナ州）、ヒューストン（テキサス州）

II スケジュール

<ニューオリンズ>

6月23日（土）日本出発

6月24日（日）ALA（米国図書館協会）年次総会

6月25日（月）ニューオリンズ公共図書館（ローザ・F・ケラー図書館、中央館）

6月26日（火）ロヨラ大学図書館、テュレーン大学図書館

<ヒューストン>

6月27日（水）ヒューストン大学図書館、NASA センター

6月28日（木）ローンスターカレッジ図書館、ライス大学図書館、ヒューストン公共図書館

6月29日（金）米国出発

6月30日（土）日本到着

Ⅲ 報告

本研修で視察をした大学図書館について、下記の通り報告する。なお、以下の報告記載の数値等は、見学の際に説明のあった数値および各大学図書館 HP 等によるものである。

1 ロヨラ大学ニューオーリンズ校 (Loyola University New Orleans) [私立]

≫大学概要⁽¹⁾

設立	1912年	学生数	学部：2,615名、院：663名、他：580名
学部・学科	人文科学、ビジネス、法学、音楽・美術、看護・健康		
所在地	6363 St. Charles Avenue, New Orleans, Louisiana 70118		
Web サイト	http://www.loyno.edu/		

≫図書館概要

訪問先	Monroe Library
所蔵数	情報なし
Web サイト	http://library.loyno.edu/

視察をした「Monroe Library」は中央館にあたり、年間約 50 万人が来館しており、多くの学生に利用されている。そのため、館内に配置されている什器は可動式のものも多くあったが、耐久性も重要視されているとのことだった。また、図書館ガイダンスは約 60%の学生に対し実施しており、学部のカリキュラムから指導が必要とされる内容を組み入れている。併せて、ガイダンスと連動し、学期末にテスト形式のアンケートを実施し、理解度を確認しているとのこと。その他、新たに「遠隔ビデオ会議」システムが設置されていた。教員組織・図書館をつなぐ役割である「リエゾンライブラリアン」が、積極的に働きかけをし、学習・研究に問題を抱えている学生がいなか教員へ問い合わせをし、きめ細やかな図書館の利用指導を実施、また、電子機器担当と協力して、図書館内に最新の電子機器を備えるなど、部局を横断して、協力をしている点が印象的だった。学生のニーズにあった図書館設備や、図書館利用を促進するために、協力体制の必要性を改めて感じた。

≫写真



遠隔ビデオ会議が可能な施設



ラーニングcommons(レファレンスカウンターに隣接)

2 テュレーン大学 (Tulane University) [私立]

≫大学概要 (i)

設立	1834年	学生数	学部：8,435名、院・他：5,167名
学部・学科	建築、ビジネス、リベラルアーツ、公衆衛生・熱帯医学、理工学等		
所在地	6823 St. Charles Avenue, New Orleans, Louisiana 70118		
URL	http://tulane.edu/		

≫図書館概要

訪問先	Howard-Tilton Memorial LIBRARY
所蔵数	図書(約4百万冊)、オンラインジャーナル(約6万4千件)、音声記録(約4万点)等
URL	http://library.tulane.edu/

視察をした「Howard-Tilton Memorial LIBRARY」は中央館にあたり、主な利用者は学部生・院生とのこと。電子資料予算は、図書館予算の70%を占めており電子資料への移行を積極的に進めているとのことだった。その他に、世界最大級のジャズコレクションや、ラフカディオ・ハーンのコレクションも所蔵しており、海外からの見学も多いとのこと。

説明は、こちらより質問した内容への回答という形式で行われた。前述のとおり、電子資料への移行を積極的に進めているが、「既にデジタル化している資料をどうアーカイブするか」が問題としてあるとの話があり、世界共通の課題であると感じた。また、教員へのサポートとして、「Research Impact Analyst」(ii)を新設予定。研究成果の反響(SNSも含む)の分析・調査業務を担う予定とのこと。

≫写真



館内設置パソコン



館内写真

3 ヒューストン大学クリアレイク校 (University of Houston Clear Lake) [州立]

≫大学概要⁽ⁱ⁾

設立	1974年	学生数	学部：約5,900名、院：約2,800名
学部・学科	ビジネス、教育、人文科学、工学		
所在地	2700 Bay Area Boulevard, Houston, Texas 77058		
URL	http://www.uhsystem.edu/		

≫図書館概要

訪問先	Alfred R. Neumann Library
所蔵数	図書(約51万冊)、雑誌(約7万8千6百冊)、電子書籍(約31万千件)等
URL	https://www.uhcl.edu/library/

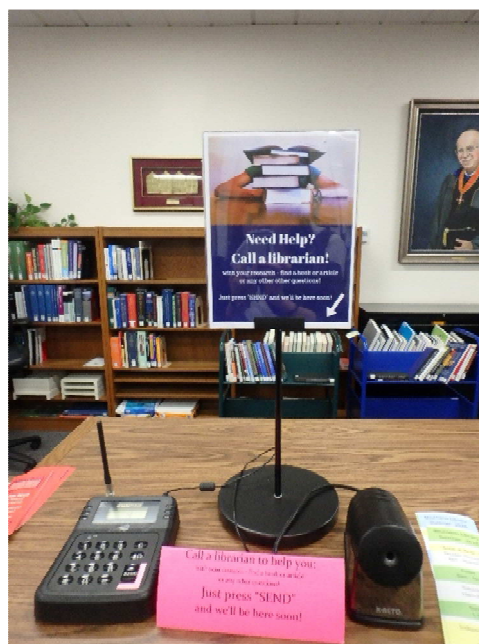
視察をした、ヒューストン大学クリアレイク校にある「Alfred R. Neumann Library」には、「University of Houston Clear Lake Archives」が設置され、NASAのジョンソン宇宙センターの歴史コレクションも保管されている。また、図書館の戦略に沿った革新的な取り組みを奨励する助成制度があり、2017-18年は、夜間の館内での映画上映や、学内にある zine（自作の小冊子のこと）のコレクションへの認知を高める取り組みが、対象となった⁽ⁱⁱ⁾。その他、図書館の慣習にとらわれない取り組みも行っており、例えば「図書館で犬と触れ合っ
てストレス解消」、「小説を食べ物で表現するイベント」、「寄贈された図書の販売」等が実施されている。周知・広報には、SNSを活用し、学生へ図書館は「楽しい場所である」ということをアピールしていきたいとの話があった。また、学生向けのガイダンスは、ACRL (Association of College & Research Libraries) の「高等教育における情報リテラシーのフ

レームワーク」(iii)に沿った内容で行っているとのこと。

≫写真



図書館入口



レファレンスカウンター(電話による呼出が可能)

4 ローンスターカレッジ (Lone Star College) [コミュニティ・カレッジ]

≫大学概要 (i)

設立	1972年	学生数	約 99,000 名 (登録者数)
学部・学科	芸術、人文学、ビジネス、工学、数学、健康科学、教育等		
所在地	9191 Barker Cypress Road, Cypress, Texas 77433		
URL	http://www.lonestar.edu/		

≫図書館概要

訪問先	LSC-CyFair Library
所蔵数	情報なし
URL	http://www.lonestar.edu/library/

ローンスターカレッジは、公立の2年制大学で、大学教育と職業訓練を提供する機関である (ii)。視察をした「LSC-CyFair Library」はキャンパス内にあり、公共図書館も兼ねているため、児童書エリアやマンガコーナーが設置されていた。また、館内には

「Academic Success Center」という学生スタッフによる学習支援を行う施設がある。学生

への支援をメインとしているが、空いている時間帯は、高校生などの地域住民も利用可能。その他、教育プログラムの学生が、児童に向けて読み聞かせを行うなど、図書館内で、児童から大学生、大人まで、学びの繋がりが生まれている点がメリットだと感じた。

≫写真



Academic Success Center



周辺地域の公共・大学図書館からの ILL 受取ボックス

5 ライス大学 (Rice University) [私立]

≫大学概要 ⁽ⁱ⁾

設立	1891 年	学生数	学部：3,970 名、院：2,934 名
学部・学科	建築、工学、人文学、音楽、自然科学、社会学部等		
所在地	6100 Main St., Houston, Texas 77005-1892		
URL	https://www.rice.edu/		

≫図書館概要

訪問先	Fondren Library
所蔵数	情報なし
URL	https://library.rice.edu/

ライス大学は、2018 年の世界大学ランキングでは米国内 14 位、世界 86 位 ⁽ⁱ⁾ に位置している。

視察をした「Fondren Library」は中央館にあたり、「シェアードプリント「WEST (Western Regional Storage Trust)」」 ^(iv) という、アメリカ西部の 100 以上の研究図書館・大学図書館で紙媒体の雑誌を共同で保管する取り組みのハブ機関のひとつとして、膨大な量の資料の保管を担当している。保管する雑誌は厳選しており、既に電子化されていて今後の閲覧が保証されているものは積極的に廃棄をしているとの説明もあった。保管対象の雑誌

は、分野ごとに分けて一つのハブ機関にまとめて所蔵し、長期保管も確約されることとなっている。資料の重複保管を回避できるというメリットは大きいですが、ハブ担当機関は費用面での負担も大きい。なお、保管庫には「WEST」の資料と、ライス大学の資料が収蔵され、合計で約 100 万点である。また、保管庫は約 90%が既に使用されており、新保管庫も検討したいとのこと。その他、図書館内に、「Digital Curation Lab」を設置し、紙の資料の電子化や、カセット等の音源の読み込み・保存等を行っている。電子化・保存だけでなく、リポジトリへの公開も同施設で行っているとのこと。

» 写真



保管庫



Digital Curation Lab

IV その他

大学図書館以外の印象的な取り組みについて、報告する。「本を読む」だけでない、現代のニーズに合った機能を柔軟に取り入れている点が印象的だった。

1 ニューオーリンズ公共図書館 (New Orleans Public Library Main Library)

電化製品の企業「The Best Buy」と協力し、若者が最新機器（3D プリンター、動画編集ソフト、音楽録音スタジオ等）を利用するための「Teen Tech Center」を設置（利用料金は無料）。

2 ヒューストン公共図書館 (Houston Public Library Scenic Woods Regional Library)

上記、IV 1 と同じような機能を持つ「TECH Link」^(v)を設置していた。

V 所感

研修を通じ、図書館の最新動向に触れることができた。図書館情報学の修士号を取得している「ライブラリアン」が在籍する米国図書館と、日本の図書館体制は異なるが、自由な発想や、他機関・他部局との協力により図書館の価値を高めることが大切だと感じた。

また、米国図書館職員の方々が自信を持ち担当業務について説明する姿を拝見し、図書館業務の成果を積極的に外へ紹介することも、図書館業務への理解を高め、より図書館が発展していくうえで重要だと感じた。

さいごに

本研修に参加させて頂き、貴重な経験をすることができました。この度は、丸善雄松堂株式会社、図書館総合展運営委員会、アイ・ダヴリュー・エイ・ツアー東京支店の皆様には、出発前より大変お世話になりました。また、参加に際し、私立大学図書館協会国際図書館協力委員会ならびに職場の皆様には、沢山のご協力を頂きました。皆様のご尽力のお陰で、大変有意義な機会となりましたことを、この場をお借りして心より御礼を申し上げます。

参考資料

- (i) ALA・米国図書館研修事務局作成「ALA・米国図書館研修 2018 訪問先基礎情報」
- (ii) Research Impact Analyst
<https://apply.interfolio.com/50629> (2018年8月30日時点)
- (iii) ACRL「Framework for Information Literacy for Higher Education」
<http://www.ala.org/acrl/standards/ilframework> (2018年8月30日時点)
- (iv) WEST
<https://www.cdlib.org/services/west/about/> (2018年8月30日時点)
- (v) TECH Link
<http://houstonlibrary.org/techlink> (2018年8月30日時点)

以上